

平成30年度第3回 食育推進講習会（一般コース）実施要項

- 1 趣 旨 国民の生活習慣病予防が喫緊の課題となる中、学校における食育の推進を図るためには、中核となる栄養教諭・学校栄養職員の指導力の向上が求められている。さらに、家庭・地域と連携していくためには指導者がともに研鑽を積んでいくことが重要である。こうしたことから、本講習会は栄養教諭をはじめとする食育の推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の習得と指導力の充実を図ることを目的とする。
- 2 主 催 公益社団法人 全国学校栄養士協議会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-15-5 DSビル1005号
電話 03-6380-4360 FAX 03-6380-4363
- 3 後 援 文部科学省（予定）
- 4 対 象 公益社団法人 全国学校栄養士協議会会員、OB会員、
栄養教諭等養成大学指導者、地域等で食育推進にあたっている者、学生、
その他食育推進に関わろうとする者
- 5 実施日 平成30年11月30日（金）～12月2日（日）
- 6 場 所 独立行政法人 国立青少年教育振興機構
国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟102研修室
東京都渋谷区代々木神園町3-1 電話 03-3469-2525
- 7 参加費用 会員 15,000円（宿泊なしの者 10,460円）
（内訳）参加費 7,000円
資料代 1,540円
宿泊代 3,600円（1,800円×2泊）
食事代 2,860円（夕食680円×2回、朝食470円×2回、昼食560円×1回）
※利用料金変更の際は、変動します。

OB会員	1講座	1,000円
学 生	1講座	1,000円
一 般	1講座	2,000円
- 8 参加申込方法（各々参加申込書を、ホームページよりダウンロードしてください。）
 - ・会 員：各都道府県の代表者が取りまとめて、Eメールで事務局に申し込むこと。
 - ・OB会員・学生・一般：FAXまたはEメールで申し込むこと。※ 参加のキャンセルは実施日の7日前までとし、それ以降のキャンセル料は5,000円とする。
※ 領収証が必要な場合は必要な項目等を、事前に事務局にFAXしてください。

9 講義内容

〔第1日目〕 11月30日(金)

時間	項目	講師	所属
11:30～12:00	受付		
12:00～12:10	オリエンテーション		
12:10～12:50	栄養教諭・学校栄養職員をめざすもの	田中 信	(公社) 全国学校栄養士協議会名誉会長
12:50～13:00	休憩		
13:00～14:30	食物アレルギーの食事 質疑応答	林 典子	学校法人ソニー学園 湘北短期大学 講師
14:30～14:40	休憩		
14:40～16:10	成長期のスポーツ栄養	小清水孝子	大妻女子大学家政学部 教授
16:10～16:20	休憩		
16:20～17:50	各教科における食の指導	脇田 哲朗	福岡教育大学教職大学院 教授
17:50～18:50	夕食		
18:50～19:50	グループワーク①		自己紹介 指導案交換等
19:50～20:00	事務連絡		

〔第2日目〕 12月1日(土)

時間	項目	講師	所属
8:20～8:30	事務連絡		
8:30～9:20	栄養教諭・学校栄養職員が行う食育 ～食育につなげる献立と給食経営～	長島美保子	(公社) 全国学校栄養士協議会 会長
9:20～9:30	休憩		
9:30～10:20	栄養教諭・学校栄養職員に期待する	田中壮一郎	前(独) 国立青少年教育振興機構 理事長
10:20～10:30	休憩		
10:30～12:00	学校給食の充実について	齊藤るみ	文部科学省初等・中等教育局 健康教育・食育課 学校給食調査官
12:00～13:00	昼食		
13:00～16:00	グループワーク ②		指導案審議 指導教材作成
16:00～16:10	休憩 移動		
16:10～17:10	グループワーク ③		題材ごと発表者を決める。
17:10～18:10	夕食		
18:10～19:40	栄養教諭の役割について	清久 利和	文部科学省初等・中等教育局 健康教育・食育課 食育調査官

〔3日目〕 12月2日（日）

時間	項目	講師	所属
8:45～9:00	事務連絡		
9:00～11:00	模擬授業 各テーマ 1班ずつ	藤本 勇二	武庫川女子大学文学部教育学科 専任講師
11:00～11:10	休憩		
11:10～12:50	学校における食育の実践 (模擬授業講評を含む)	藤本 勇二	武庫川女子大学文学部教育学科 専任講師
12:50～	閉講式		

※ 講師の都合により、日時を変更する場合があります。

※ 各自、昼食を終えてから受付をすること。

10 持参品

- 食に関する指導の手引き ー第一次改訂版ー 文部科学省
- 「新しい食育」「新しい食育」ー中学校・特別支援校編ー（全国学校栄養士協議会編集）
- 事前に指定されるテーマを元にした「指導案」及び「指導資料」等
- 宿泊に必要な身の回り品（タオル、ねまき、スリッパ、ドライヤー、洗面用具等）
- 調節用上着（会場のエアコンは細かく調整できません）

11 グループワークについて

【グループワークのねらい】

平成27年、28年に発行した「新しい食育」及び「新しい食育」ー中学校・特別支援校編ーの食育カリキュラムをもとに、各自が考えた案を持ち寄って小グループで検討し、実際に演習したり、見合ったりすることを通して、指導展開や板書計画など授業の計画方法や進め方等の授業力を高め、資質の向上を図る。

【テーマ】「新しい食育」「新しい食育」ー中学校・特別支援校編ー より

- 小学2年生 「野菜となかよしになろう」（指導計画 3時間）
- 小学4年生 「おやつについて知ろう」（指導計画 2時間）
- 中学1年生 「スポーツと食事について考えよう」（指導計画 2時間）
- 特別支援校

【グループワークの進め方・準備等】

- 研修部であらかじめ6人程度の班に分け、学年、テーマを割り振っておきます。
- 「新しい食育」の指導計画や展開例を参考にいただき、指導の案を持参してください。大まかな案でかまいませんが、指導案作りの時間は限られているので、似たような題材での指導事例や実践済みの指導案を持参してもかまいません。
- グループワークの時間に、各グループで**特別活動の指導案**を一つ完成させます。指導案の様式は限定しませんが、参考となる様式は用意いたします。
- 指導に使う資料や媒体は持参されたものを使っても、グループワークの時間に作ってもかまいません。完成した資料ではなくても、「このような感じの資料」でも構いません。画用紙・マジック・マグネット・ハサミ等は準備しますが、特別なものは持参してください。
- グループワークの時間は3コマありますが、指導案と資料の作成にあてられるのはグループワーク①と②で合わせて約4時間です。
- グループワーク③では、同じテーマのグループ内で作成した指導案の要旨を7～8分程度プレゼンしていただき、発表する指導案を一つ選び、発表者を決めます。
- 最終日の発表は4つの班が各々20分程度の模擬授業を行います。最後に講師より指導助言をいただきます。